

▶会社の概要や特徴

弊社は、立山山麓の中山間地に本社を置き、治山、治水、砂防などの土木工事や、学校建設などの公共工事、環境に配慮した木質ペレット製造を行っている会社です。令和3年2月期の売上高は18億円で、従業員は56名です。経営方針の一つに「快適で意欲を持てる職場を作り、従業員の幸福な家庭づくりを支援する」と掲げ、社長自ら「イクボス宣言」を行い、子育て支援に力を入れている会社です。

▶取り組んだ理由きっかけ

少子高齢化が進む中、3Kと言われる厳しい勤務環境の建設業には、新卒者の採用は困難を極めています。このままでは地域を守るための会社を存続することができず、せつかく蓄積した高度な技術を伝承することができないとの危機感から制度を導入することとしました。

▶実現による効果など

企業説明会等で、完全週休2日制を実施していることに高い関心が示され、令和3年4月には新卒大学生2名と新卒専門学校生1名の採用に繋がりました。

また、積雪期の業務閑散期には、多くの従業員が週休2日を実施することができ、家族とのコミュニケーション時間が増加したり、趣味の時間が増えたので良かったと好評でした。

▶4週8休実現へのプロセス

以前は4週6休でしたが、平成29年4月から完全週休2日制を導入しました。導入にあたって、全社員が参加する全体会議において、社長自ら導入の必要性やメリット、デメリットなどを説明し、従業員の理解を得ました。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

中山間地での工事が多いこともあり、工期が限られている現場が多い現状にあります。そのため現場技術者については、制度導入後も現場業務に追われ超過勤務の時間が増えました。このため、技術者の配置と異動をきめ細かく行い、最適な人員数で業務が行えるように常に調整をしました。

また、ICT技術を活用した現場管理の方法を採用することで、社員のスキルアップや作業の効率化を向上させました。

繁忙期に休暇が取得できない社員は、閑散期を利用して連続休暇の取得を実現しています。

▶独自の取組や工夫されてる点

週休2日工事の受注により、超過勤務時間が減少し、月収が減収した者には、賞与で減収額の半分程度を補填し、完全週休2日制の定着と超過勤務時間の減少に取り組んでいます。